



題字 萩原田 親

No. 577

2009/7/5

日中友好新聞

発行所

 日本中国友好協会
 〒113-0045 東京都文京区
 西神田1-1-1 東京女子大学3階

 日中友好協会
 岡山支部

 〒710-8236
 岡山県北3-8-30 511
 TEL:0861272-3010
 郵便番号11所
 01250-0-3835

 日中友好協会
 倉敷支部

 〒712-8011
 倉敷市連島中央1-8-1
 (宮地方)
 TEL/FAX:0870-446-2711

 日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
 メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp


日中友好協会岡山支部

2009年度総会を開催

日中不再戦は、憲法9条を生かす道

日中友好協会岡山支部は、六月二日、岡山医療生協コムコム会館で、二〇〇九年度総会を開催しました。

会は、西森理事の司会のもと、宇野支部長のあいさつで始まり、日中本部・兵庫県連及び岡山市職労からのメッセージを稲葉理事が読み上げ、続いて参加者(二一名)の自己紹介がありました。

二〇〇八年度の活動については、竹内理事長をはじめ各



室にとりくみたいとのあいさつがありました。

最後に小林事務局長より日中不再戦は、憲法9条を生かす道であることが参加者全員で確認されるなど、例年以上に充実した総会になりました。閉会のあいさつがありました。

※来賓と参加者の氏名及び提案・発言内容については、次号でくわしく紹介します。

(小林)

第58回全国大会

全体発言の場はおしまいに

大森久雄

第58回大会に参加した。議案はすべて提案どおりに承認された。しかし、問題はあった。

来賓がたくさんお見えになっていると議長は紹介する。たくさんさんの物、大勢の人。

人にたくさんとは失礼だ。続きましてを連発する。大げさですな。

全体集会での発言は意味がない。時間が限られている、な

早口でたたみかける。議案との関連はそっちのけの近況活動報告。それを2時間聞かされる身になってみよ。

その中で、岡山の真田さんの発言は快よかった。ゆったり伸びやかに中国語学習の留意点を話された。

それにしても、いきなり全体発言はやめてよい。分散会に時間をとり、その中で全体に広めるべき事例をわずか選

7月7日はもうひとつの七夕 盧溝橋事件72周年

今年は1937年7月7日の盧溝橋事件から72年、日中友好協会岡山支部は、今年も午後1時30分から天満屋アリスの広場前でチラシを配り、日中不再戦、憲法9条改悪反対の宣伝活動を行います。皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

日中岡山9条の会

読書会・上野千鶴子を読む

おひとりさまの老後』第2回

6月20日(土)午後1時半から、岡西公民館で開かれました。参加者は荒武さん梶尾さんと私の3人でした。今回は「婦人公論」5月号に上野千鶴子「おひとりさまの老後」の特集が掲載されていきましたので、それをコピーして話題にしました。

今回は、上野さんの文章のまとめ方や、書き方に違和感を感じるといふ意見が出されました。特に、婦人公論の特集では、「この本は団塊の世代の女性について書いたもので、その下の世代にはあてはまらない」団塊ジュニアはエッセイや海外旅行に費やしてき

たお金を自分自身への投資に使えばいい」など辛口の内容でした。

そこで、次回は「おひとりさまの老後を支える社会保障」を学ぼうということ、専門家に講演を依頼することになりました。9月の土曜日を予定しています。詳細ページで発表します。ご期待ください。

真田



第22回
岡山きりえ展

張主オ・はじめてのけん玉 守屋 雅恵

●と き 2009年 7月14日(火)・7月19日(日)
AM10:00~PM6:00 (最終日はPM4:00まで)

●ところ 岡山県天神山文化プラザ
2F 第4展示室

主催 岡山きりえの会
後援 日中友好協会岡山支部
日本きりえ協会
岡山市教育委員会

高島日本語教室

開講日決まる!

一 七月十四日(火) 10:00~12:00

開講準備が進んでいた高島公民館での、中国帰国者の日本語教室が、7月14日(火)からはじまることになりました。

4月開講予定が7月と遅れましたが、この間公民館職員の吉田さんによる、開講を呼びかけるビラの配布など周到な準備がなされました。



長岡教室で紹介される高島教室の講師団(右端が吉田さん)

よ!中国残留日本人孤児は「いま」と日本語教室岡山の会の歩みの写真を全員で展示しました。日本語教室開講に向けての気運を盛り上げました。

6月22日、第十七回講師団会議に吉田さんが参加(7月開講の内容についての説明。岡山の会としても全面的に協力を約束する。)

中国帰国者の日本語教室は、2004年10月23日、岡山市高島団地の集会場ではじまり、その後旭竜コミュニティハウスに移り、約三年で高島地区での教室はなくなりました。今回、高島地区で再び開講できることは、大変うれしいことです。今度は、しっかりと根を下ろし、中国帰国者と地域の人々の交流の場として、活用されることを願っています。

中国帰国者の

日本語教室岡山の会

事務局長 小林軍治

6月16日、高島公民館で、最終的な打ち合せ会(岡山の会から小林、貝吹が参加。吉田さんとボランティア9人が参加)で、話し合った結果、時間を午後から午前10時から12時に変更。また、中国語の話せる人と話せない人を組み合わせ、三人のチームをつくらせて指導にあたることを確認しました。

会の終了後、宗景さん 祖国

中国料理を楽しむ会

美味しかった何曉麗さんの手作り料理

6月7日、何曉麗さん宅で中国料理を楽しむ会が行なわれました。彼女には、岡大へ留学生として来日して以来、日中友好協会岡山支部の中国語講座の講師、中国「残留孤児」訴訟支援の通訳などで、お世話になりました。

4月から倉敷市内の会社に就職しました。今回彼女のアパートで、日中岡山支部事務局長の小林夫妻、大西さん、貝吹さん、妹尾さんの五人が招待されました。

彼女の手製の中国料理を美味しくいただき、それぞれの近況について語り合いながら楽しい一時を過ごしました。
小林軍治



左から大西さん、何さん、妹尾さん

『遙かなる絆』を鑑賞して

城戸久枝さんの著書『遙かなる絆』を見た感想文を久枝さんの父、城戸幹さんと同い年で「孤児」の高杉さん(「孤児」訴訟の岡山原告団団長)が寄せてくださいました。中国語で書かれていましたが、何曉麗さんに訳してもらいました。

ドラマ『遙かなる絆』は「大地の子」に次ぎ、中国残留孤児の一生をテーマに描く素晴らしいドラマだと思います。見ても感動しました。

城戸幹さんは苦難に満ちた、平坦でない人生を歩んできました。それぞれ異なりますが、孤児の皆さんも苦難の人生を経験してきたのです。

幹さんと私は同世代の間で、また同じように二回とも言語という難関を経験しました。孤児となり、初めて養父母の家に行って中国語が分からなかったです。幹さんが小学

校の時、試験が不合格のため

養父に叱られました。その後、幹さんは日本に帰ってきて日本語がでさなくて肉親の父に役に立たない人間だと言われ

ました。孤児たちはほとんど、幼い頃の中国語習得と、帰国後の日本語習得の難関を経験しました。

戦争年代、残留日本人孤

児は九死に一生を得たので

す。生き残れたのは二度目の命を与えてくれた善良な中国の養父母のおかげです。幹さんの養母を見ると、体型・容貌だけでなく、その純朴さと

善良さ、また残留孤児を自分の子供のように愛するところは如何にも私の養母に似ています。一九七〇年、やっと幹さんが日本に帰る時となりました。長年の母子の情、別れがたい牡丹江駅での別れのシーンを見て、泣かずにいられませんでした。

ドラマには、厳しい冬に幹さんたちが木材(丸太)を担ぐシーンがありました。これを見ると帰国前、私も林業の仕事をして、泣かずにいられませんでした。

二十七年間したことが頭に浮かび上がりました。冬は木を伐採する季節です。気温が零下20~30℃にも関わらず、労働者たちが木を伐採、担ぐ時の一生懸命さで、寒さなんか少しも感じていないようでした。

伐採した樹種には白樺・コナラ・シナノキなどがあります。これらの木材を雪が溶ける前に、販売するため、麓に運ばないと

第58回全国大会で 前会計監査を顕彰

日中岡山の前会計監査の砂子和正さんが大会で顕彰されました。08年11月18日、81歳でご逝去なさいました。ご冥福をお祈りいたします。また、機関紙コンクールでは、特別賞をいただきました。



いけないのです。

中国残留邦人新支援法が実施して一年となる際、NHKテレビ局が『遙かなる絆』ドラマを放送したのは大変な意義を持っていると思います。これは皆さんが残留孤児の人生についてもっと知り、もっと理解できる上、残留孤児を支援するには有益です。今後も続々と中国残留邦人をテーマとするドラマの放送を期待しております。

中国残留日本人孤児
高杉久治

次回の新聞送作業は
7月13日(月)午後1時半
民主会館2階で行います。前回お手伝いくださいました方です。

丹林内井
伊小竹竹坪